

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを、基本方針に取り入れ理念にしています。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>常に管理者、職員共に理念の実践に向け意識を高めて取り組んでいる。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>家族にはケアプラン等に示しながら地域での暮らしの大切さを伝えるようにしている。地域には運営推進委員会に参加している地域住民の代表者を通してグループホームの理念を理解いただけるよう努めている。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>立地が住宅街から離れた場所の為、厳しい点がある。日常生活の中で挨拶やグループホームの行事を通して交流に心掛けている。</p>	<p>以前実施した近隣住民との『茶話会』と『地域版通信』の発刊を実施していきたい。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>地域内の小学校、中学校、幼稚園の行事参加。地域開催の文化祭には多くの作品を出展参加をした。また併設施設合同の行事(開設記念祭・納涼祭)に地域の方々を招待し年々多くの参加がある。</p>	<p>運営推進委員会を通じて今後、さらに近隣地区の行事、活動への参加の機会を増やしていきたい。</p>

グループホームかたくりの郷(らいちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>現在、実施していることはない。</p>	<p>今年度「認知症介護指導者」の研修終了した職員がいるので今後、地域高齢者等の生活を支えるために貢献していきたい。当事業所の特性を活かし在宅介護で悩んでおられる住民に来所頂き、相談・助言の場になれるよう考えている。</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>職員全体で意義を理解し自己評価に取り組み、評価結果について具体的に検討し実践に繋げるように努めている。</p>	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>状況報告・活動報告をし、協議された意見をサービス向上に活かすよう努めている。</p>	
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地元、白馬村・小谷村とは月1回、村の職員も加わった介護サービス事業者の「連絡会議」に参加。入居状況・入居待機者状況等報告し、情報交換を行っている。</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在1名のご利用者が「地域福祉権利擁護事業」を活用、支援している。研修を通して学んでいる職員が3名おり、伝達研修で情報共有している。</p>	
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>施設内研修で学び、チーム内でも意識を持ち虐待防止に努めている。</p>	

グループホームかたくりの郷(らいちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には書類に沿って説明を行い理解を図っている。その中でご利用者、ご家族の希望・疑問に対ししっかり受け止めるよう配慮している。解約時は管理者・職員で検討を重ね、ご家族に十分な説明をし一緒に検討した上で同意を得ている。退所先の支援もしている。		
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月に1回介護サービス相談員の訪問やCS(顧客満足)委員会実施のアンケート、ご意見箱の設置を通して意見を表せる機会を設け運営に活かしている。日常生活の中でご利用者の言葉、態度からも思いを察するよう努め、職員間で共有し支援するよう心掛けている。		
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	担当職員からご家族には折に触れ暮らしぶり、健康状態等報告している。金銭管理は出納帳で明示し面会時に確認いただいている。1回/月発行の『かたくり通信』で必要事項の連絡・職員の人事等報告している。		
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族参画型のホームを目指し、いつでもご意見いただけるよう心掛けている。ご意見箱の設置、苦情等の窓口の明示、年に1回無記名でのアンケート実施により意見・不安・苦情等伺う機会を設け、頂いた意見・要望は運営に反映するよう努めている。		
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	チームカンファレンス月に1回設け各職員の意見・提案を出せるようにしている。出された意見は主任から管理者に報告し検討している。年1回運営者と個人面談を実施し意見・要望を出せる機会となっている。		

グループホームかたくりの郷(らいちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>		
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>		

グループホームかたくりの郷(らいちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年度ごとに職員個々が自己評価を通し、努力や実績を振り返り、自己目標を設定している。上長評価を合わせて総体的評価に努めている。また評価結果が各自の向上心に繋がるよう個人面接を実施し意見交換ができるようにしている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前の面接やグループホームに見学に来ていただく機会を設け、ご本人自身とお話し思いや求めていることを受け止めるよう努めている。		
24 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前の面接やグループホームに見学に来ていただく機会を設け、ご家族の希望・思いを伺い、受け止めるよう努めている。		
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、必要と思われるサービスはグループホームに留めず、併設施設等協力し合い他サービス利用も含めた対応もしている。また緊急性がある場合でグループホームにすぐ入所できない時は併設施設と連携を取っている。		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前にご本人を含めた見学をしていただくようにしている。また可能な方には日頃から遊びに来ていただき、環境や他入居者と少しでも馴染んでいただけるようにしている。		

グループホームかたくりの郷(らいちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>理念にも「ご利用者とスタッフが喜び、悲しみを共有できるグループホームを目指す」ことをあげ、共に生活しながらその中で学び、支えあう関係性を深めている。</p>	
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ケアプラン作成等や面会の機会を利用しご家族の意向を伺い、共に支援して行けるよう働きかけている。また家族会、行事でも家族参画を目指し一緒に運営に協力していただいている。</p>	
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>入居前の情報収集の時点からご本人とご家族との関係の理解に努め、より良い関係性を築いていけるように配慮しながら支援している。</p>	
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>なじみ深い方に気軽に面会に来ていただけるように声掛けしたり、馴染みの場所に出掛けられるよう個別に支援している。</p>	<p>徐々に個別に支援できるようになって来ているが、ご家族等にも更に理解をいただけるよう努め支援していきたい。</p>
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>ご利用者同士の相性等に配慮したユニット構成を考えたりスタッフがさりげなく仲介し円滑な関係が築けるよう努めている。その場合、ご利用者同士の関わりを大切にし関わり過ぎないように注意している。</p>	

グループホームかたくりの郷(らいちょうユニット)

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>サービス利用終了後も連絡を取り合ったり、面会に伺いこれまでの関係性を大切にしている。</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>				
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わりの中でご本人の思いをくみ取るよう努めている。</p>		<p>一人ひとりの思いや希望が叶えられる様に、更に本人本位の視点での支援に努めていきたい。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>その方の生活歴、馴染みの生活の情報収集に努め、ホームでの生活に活かせるように心掛けている。個人年表作成にも取り組んでいる。</p>		<p>センター方式・個人年表を活用して更にその方の支援に繋げていきたい。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>一人ひとりに合わせて一日を過ごしていただいている。その方の有する力が発揮できるように支援している。個々の様子を申し送りや職員間の連絡ノートを活用し情報を共有、その時の状態に合わせた支援を心掛けている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>				
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画作成においてケアカンファレンスを実施。家族参加が無理な時は担当が直接意向を伺っている。ご本人にも意向確認しており、確認が難しい方にはご本人の思いをくみ取るように努めている。</p>		

グループホームかたくりの郷(らいちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヵ月毎に見直しを実施。またご利用者の状態変化に合わせ、必要時には新たな介護計画を作成している。作成時には必ずご本人、ご家族に意向を伺い確認をいただくようにしている。		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々に介護記録を記入し、気づきや変化については毎日の申し送りや職員の申し送りノートで情報を共有して実践や介護計画作成に活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設の複合施設との連携を活かし、医療等必要に応じて柔軟な支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	学校や幼稚園との交流活動を続けており、防災では消防署、地域消防団、近隣の福祉施設との防災訓練を実施している。		個人的支援の中で地域資源をもっと活用して行きたい。(図書館、サークル等)
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問看護を利用し、ご利用者の疾病対応や健康保持に努めている。		

グループホームかたくりの郷(らいちょうユニット)

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>地域包括支援センターとは月に1回の連絡会議で情報交換を行っている。1名の利用者について地元の基幹社協の協力を得て、地域福祉事業を活用している。</p>		
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所時に希望の医療機関を確認している。歯科医等、専門医も希望の医療機関に受診支援を行っている。</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>管理者は心療内科の医師であり、認知症に対する治療を始め介護支援でも助言、指示を受けている。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>訪問看護の活用の他に、管理者の医師、併設施設の看護職員と連携を取り、健康管理や医療活用の支援を行っている。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院時には管理者である医師が入院先の医療機関との連携に努め、職員もご本人に面会しメンタルケアに努めている。回復状況により、なるべく早期に退院できるよう、受け入れに努めている。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>当ホームの指針を表示し同意いただいている。介護計画書1表に緊急時や重度化した場合の対応・看取りについての意向を記載する項目を設け、話し合い確認している。また状態の変化が有る度にご家族に意向を伺い、ご本人の気持ちも汲むように努めている。</p>		

グループホームかたくりの郷(らいちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		<p>今後の変化に備え、支援に必要な対応について学習会や準備を進めて行くところである。</p>
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>		<p>ご本人の状態や理解できる力に合わせて、説明を行い自分で決めて頂いたり、納得いただけるよう支援に努めている。</p>

グループホームかたくりの郷(らいちょうユニット)

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりのペースを大切にしているが、時としてやむを得ずホーム全体の流れに合わせていただく事がある。</p>		<p>可能な範囲で、その方の希望に添った一日が過ごせられるような支援を心掛けたい。</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>その方の好みや、その人らしさを大切に支援している。</p>		
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>日常的にその方の力に合わせてながら食事作り、片付けに楽しみや、やり甲斐を持って参加していただいている。会議で希望のメニューを立てて、個人の食生活の好みにも対応している。</p>		
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>日常的に晩酌を楽しんだり、好みに合わせた飲み物の提供している。自由にお茶が楽しめるよう支援している。買い物で食べたいおやつを買っていただいている。</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの排泄パターン、習慣に合わせた支援をしている。おむつ使用を避け自然排泄の継続に努めている。見守り、介助の必要な方にはご本人の負担にならないように配慮しながら行っている。</p>		

グループホームかたくりの郷(らいちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	時間帯ではホームの都合に合わせていただいているが、ご本人の気持ちを大切に、無理強いはしないようにしている。ゆっくり入浴できるように一人浴で対応しているが、希望があれば利用者同士の入浴も楽しんでいただいている。また、天然の温泉を引湯しており喜んでいただいている。		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりに合わせて支援している。日中においてはその方のくつろげるスペースを設けたり、夜間の安眠においても、その方の状況に合わせている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの得意なことを活かし行うことで充実感を持っていただけるよう努めている。その折にはご本人のやる気と負担感に配慮している。またその方の楽しみ事も大切に、個々に支援している。		
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には職員が管理し、ご本人の希望時に買い物支援をしている。		可能な方にはご自分で使う機会を支援する。
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりの希望に全て応えるのは難しいが、可能な時にはできるだけ希望に添えるよう、その方の出かけた場所への外出を実施している。		難しい状況の時もあるが今後、もっと希望に添えるよう努めたい。

グループホームかたくりの郷(らいちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	かたくりの会(家族会)を利用したの遠出や、個別に家族の協力の下、行きたい場所への外出支援を行っている。		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時には電話、手紙の支援を行っている。		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	特に面会時間の規制は設けず気軽に面会、訪問していただけるようにしている。面会場所も希望の場所で過ごしていただいている。また、訪問者のために宿泊していただけるよう配慮している。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	併施設設合同の「行動制限審査委員会」に参加、し身体拘束ゼロに努めている。現在身体拘束なし。		
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間のみ玄関に施錠。弊害の理解はできている。		

グループホームかたくりの郷(らいちょうユニット)

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>ご本人のプライバシーに配慮しながら所在の確認、様子を把握し安全に努めている。</p>		
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>一人ひとりの対応に心掛け、危険な物は保管に配慮するがむやみに片付ける事の無いようにしている。</p>		
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>マニュアルを作成し確認し合い事故防止に取り組んでいる。発生時にはヒヤリハットや事故報告書を記載しその人に合わせた対応、予防策を検討し職員間の共有するように努めている。事故発生時にはご家族に報告・説明を行っている。</p>		
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>心肺蘇生法の研修会を年に1回以上全職員が受講している。事故発生時に備えマニュアルを作成し対応の周知を図っている。近日中にチームカンファレンスで対応訓練の予定あり。</p>		
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>併設施設、消防署、地域消防団と防災訓練の実施。夜間想定避難訓練。ホーム独自の避難方法、災害時の対応について職員に周知を図っている。</p>		
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている</p>	<p>介護計画書の説明時、面会の折などにご本人の現状・リスクについて説明し対応について話し合うようにしている。安易にリスク回避の為にその方の生活を抑制しないよう心掛けている。</p>		

グループホームかたくりの郷(らいちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>バイタルチェックを毎日実施し体調変化や早期異変の発見に努め、気付いた時は速やかに医師に報告、受診を実施している。職員間でも情報を共有している。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>処方薬については処方箋と薬剤つき合わせを行い、医師からの説明も受診記録・職員連絡ノートを活用し職員間で情報共有を図っている。配薬は二重チェックを実施している。症状変化時には必ず医師に相談するようにしている。</p>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>排便チェックを行い便秘に気をつけている。便秘薬に頼ることだけでなく、牛乳、冷たい水、食事など日常生活で工夫を行っている。</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>その方に合わせた支援を行っている。介助の必要な方にはご本人の気持ちに配慮しながら支援している。義歯は週に1回洗浄剤で清潔保持に努めている。</p>	
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>チェック表でその日の摂取量の把握を行っている。一人ひとりに合わせた量や形状、好みに配慮している。</p>	

グループホームかたくりの郷(らいちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	併施設設合同の「感染対策委員会」に参加し、対応の取り決めを行い、実施している。インフルエンザの予防接種の支援を全員に行っており、職員も全員接種義務化して予防に努めている。		
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台所、調理器具の衛生に努め、新鮮・安全な食材の提供に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周りに花を植えたり、ベンチを置きくつろぎ易く、親しみやすいようにしている。		
81 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり、季節に合わせたレイアウトで季節感を味わっていただけるようにしている。心地よく過ごしていただけるように音、明るさにも配慮している。		
82 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	所々に椅子やソファを置き、思い思いの場所で過ごしていただけるようにしている。		

グループホームかたくりの郷(らいちょうユニット)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族には馴染みの家具などの持ち込みを呼びかけているが、中には諸事情で実施の困難な方も多い。各居室にはその人らしさを考えた手作りのれんや表札、居室のレイアウトを行っている。</p>		<p>今後、更にご本人の生活感があふれた居室作りをしていきたい。</p>
<p>84</p> <p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>こまめな換気に配慮している。温度計を設置しご利用者の状態に注意している。乾燥予防に加湿器の他、濡れタオルでも対応している。</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>85</p> <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>滑りやすい和室の上がりかまちには滑り止めシートを貼る等、工夫することでむやみに行動を制限することなく自由に生活していただけるよう努めている。</p>		
<p>86</p> <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>一人ひとりに合わせた説明や、必要時にはご本人に解りやすいように居室やトイレに目印を付けたり工夫している。</p>		
<p>87</p> <p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>庭先にベンチや椅子を置き自由に過ごしたり、洗濯物を干したり、そこでお茶や食事を楽しんだりしている。</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所に つけること)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

グループホームかたくりの郷(らいちょうユニット)

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所に をつけること)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている
		少しずつ増えている
		あまり増えていない
		全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が
		職員の2/3くらいが
		職員の1/3くらいが
		ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が
		利用者の2/3くらいが
		利用者の1/3くらいが
		ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が
		家族等の2/3くらいが
		家族等の1/3くらいが
		ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・一人ひとりに合わせた対応に心掛けADLの低下防止に努め、またその方の気持ちを尊重した支援に努力している。
- ・連携したチームケアに努めながら、担当制も導入することでご利用者・ご家族とより深い関係作りを図り、きめ細かいサービス提供が出来るように努めている。
- ・家族会(かたくりの会)を月1回開催し、ご家族に参画いただいている。この会を通してご利用者・ご家族・職員の関係がより深まったり、ご利用者・ご家族間の繋がりを深める事になっている。